

【開催レポート】アド・セイル株式会社が『自治体・公共Week2023』に出展

～観光消費データから地域観光の〈稼ぐ力〉を可視化し、行政・自治体観光マーケティングのEBPM推進、高付加価値化を支援～

行政・自治体向けに観光マーケティングでのデータ活用を支援する当社子会社のアド・セイル株式会社（本社：香川県高松市、代表：川添 泰史）は、去る2023年6月28日（水）～30日（金）に東京ビッグサイト（東京国際展示場）にて開催された『自治体・公共Week2023』に、三井住友カード株式会社と共に出展いたしました。

『観光マーケティングをあたらしく、シンプルに。』をテーマに

- 三井住友カードの保有する決済データをもとにした観光消費動態とGoogleの検索データから地域観光の〈稼ぐ力〉を可視化
- デジタルプロモーションを中心とした打ち手を実施
- さらにその効果を決済データによる域内での観光消費行動で把握
- 次のプロモーションへの改善につなげる

という、自治体・行政の観光マーケティング支援サービスの紹介を行い、行政・自治体関係者をはじめとする多くの来場者の注目を集めました。



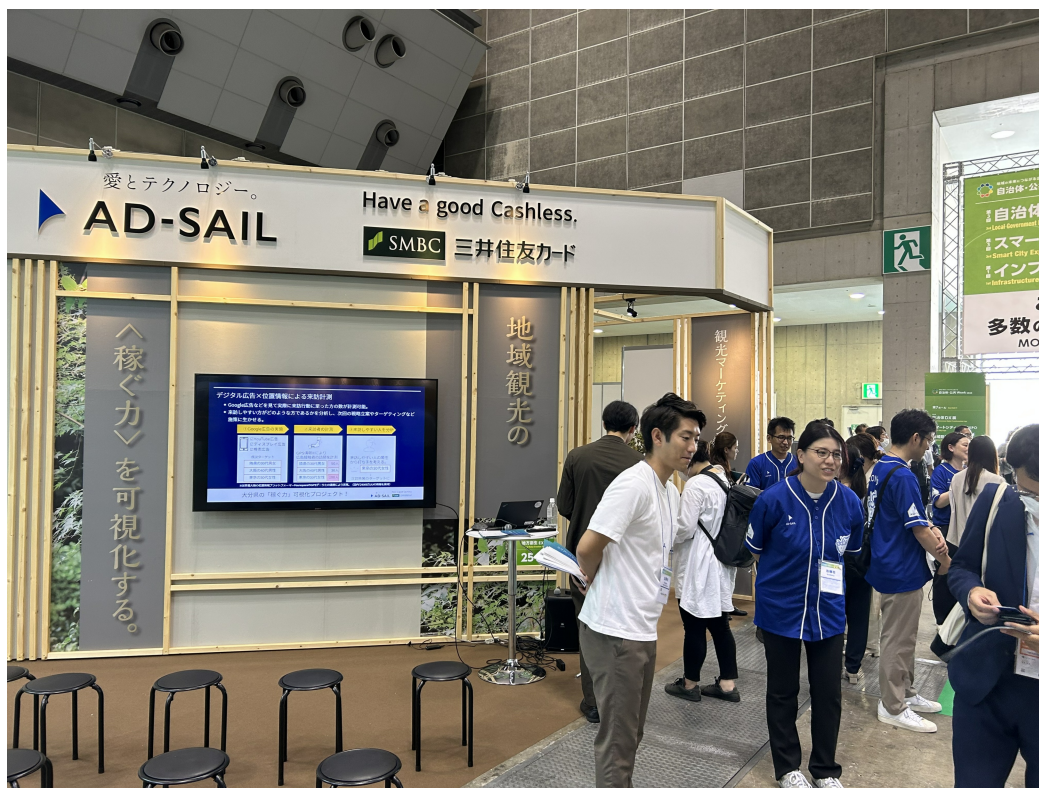
国内、国外での観光市場の復活が本格化する中、行政・自治体で観光に関わるメーカーにとって

- 事業のEBPM化推進
- 地域観光の高付加価値化

• 住民をはじめとするステークホルダーへの説明責任

が課題となっています。

ブースでは、『地域観光の〈稼ぐ力〉を三井住友カードの持つ決済データから測る』というアド・セールと三井住友カードの提供するサービスについて観光マーケティングに関わる来場者に訴求、大きな関心を集めました。



また、当日はアド・セール、三井住友カードに加えGoogleからゲストを迎え『地域観光の【稼ぐ力】をデータから可視化！自治体観光マーケティングの新スタンダード』をテーマに3社によるトークセッションも行われ、多くの来場者が3社の取り組みに真剣に聴き入っていました。



アド・セイルは今後も三井住友カードと協業し、決済データによって地域産業の〈稼ぐ力〉を可視化、観光による地域創生を支援して参ります。

アド・セイル株式会社のプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchlp/company_id/24814